

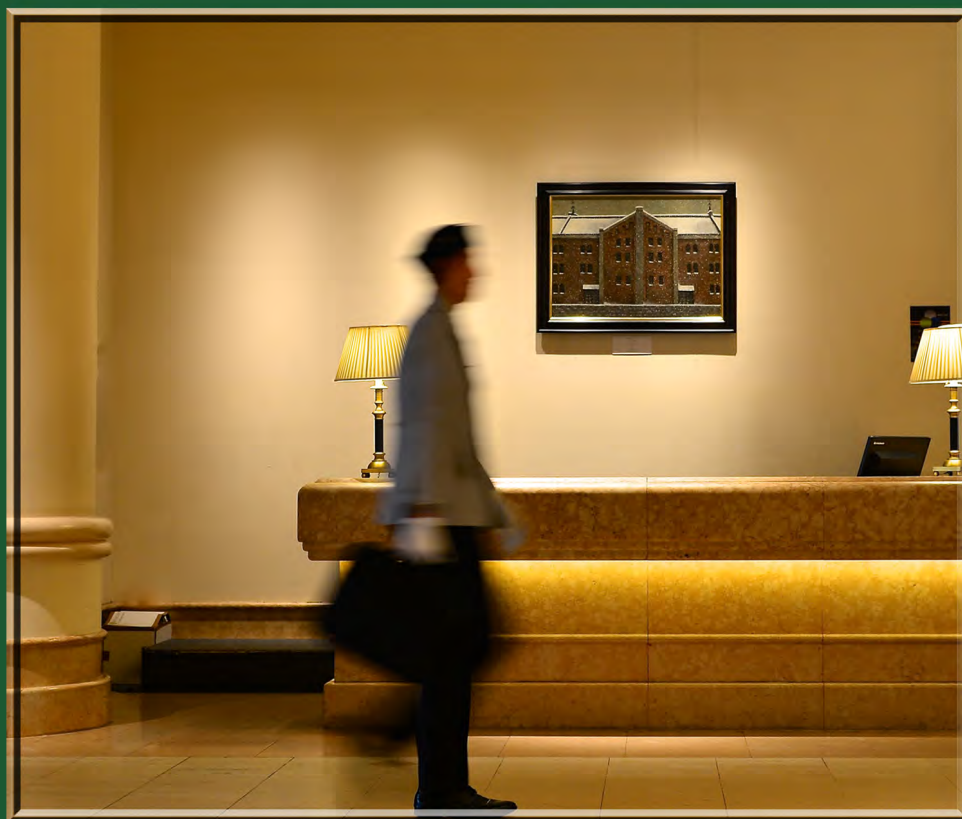
高田保雄のヨコハマ

ヨコハマシリーズの最初の絵は、煉瓦倉庫の焼け焦げた扉から始まります。無残な姿を描いておきたかったのです。建っているものが何も無くなった焼け野原は余りにも悲しくて描くのをやめました。

ニューグランドホテルは、家族で何か良いことがあると出かけたり、小学校の友人も近所にいたので、あの周辺は懐かしい場所でホテルの前の山下公園は良い遊び場でした。私の母校関東学院中等部の建物など、次第に増えてきた手元の作品を見ながら、戦後のヨコハマの小さな歴史を描いているような気がします。

いろいろな絵を見ながら、海水と油の混ざった港の匂いを感じて頂けたら幸いです。

高田保雄



高田保雄”ヨコハマシリーズ”によせて

高田先生は、簡素な構図、緊張感ある時空表現で、凛とした佇まいがある”花”、空気感、臨場感にあふれた”風景”、など清澄で品格ある絵画を描き続けてこられました。それは卓越した技量だけでなく、自己の孤独と真摯に向き合う長く深い経験から生み出された、静かで清らかな熟成された美の世界であり、古今東西の名画にも通じます、なかでもライフワークである”ヨコハマシリーズ”は別格です。

生まれ育った土地への深い愛情にくわえ、肉親までも巻きこまれた横浜大空襲のつらく悲しい思い出。

そこには抛って立つ場を描くことだけではなく、戦争を二度と起こしてはいけないという、強いメッセージがこめられ、残った横浜を描かなければならないやむにやまれぬ特別な意思が凝縮しています。

将来にわたって多くの人々が横浜を言えば本シリーズを想起すると同時に、平和を希求する時代精神をも体現した象徴的な名画として語り継がれることでしょう。 永井画廊 永井龍之介

高田保雄プロフィール

1927年 横浜生まれ 横浜小学校 関東学院中等部
1945年 東京美術学校（のちの東京藝術大学）入学
1950年 東京藝術大学卒業
1976年 作品「野芥子」国立近代美術館蔵となる
銀座文藝春秋画廊を中心に個展多数開催
2016年 逝去

高田保雄のヨコハマ

展示会場 ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル
〒220-8522 横浜市西区みなとみらい1-1-1 TEL: (045) 223 2222

会 期 2017年4月25日～7月31日



展示内容

- 1F ロ ビー 雪の煉瓦倉庫(30P 1970年代) 山手教会の秋(30F 1970年代)
2F 英国領事館(30F 1970年代) ニューグランドホテル北の窓(30M 1975-78年)
山下公園の朝(20F 1970年代) 山下公園の薔薇(20F 1970年代)
2F フランス料理 「アジュール」 フランス山(30M 1970年代) 港のレストラン(20P 1970年代)
山手教会(15F 1970年代) 英国領事館(入口)(15F 1975-78年)
30F ボラード(12F 1960年代) 朝の港(12P 1960年代)
ニューグランドホテル「マッカーサーの部屋」(10M 1960年代)
英国の船会社(10F 1975-78年) 煉瓦倉庫の扉(6P 1960年代)
港の見える丘公園(10F 1975-78年) みなとみらい(12F 1980年代)
フェリスの石段(10M 1960年代) 正金銀行玄関(30M 1975-78年)
記念会館(65.2 X 22cm 1960年代)



協 力 ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル

企 画 永井画廊 東京都中央区銀座8-6-24 河北新報ビル5F
TEL:03-5545-5160 /FAX:03-5545-5180 e-mai:info@nagai-garou.com

*本展は展示販売です。ご購入希望の作品がありましたら弊廊までお問い合わせください